

投映型フルカラープロジェクタ

ViewLight® MT1065J/MT1060J**補足説明書**

本機は、本体内部のソフトウェアの改良により、次のように操作性が向上しています。本書は、本機の取扱説明書との差分を記載しています。

本書の本文にある「00ページ」は、本機の取扱説明書のページを表しています。

目 次

1. オートスクエアショット ……………2
2. レンズズーム連動による台形補正の精度向上 ……………5
3. USBマウスを使った場合の操作性向上 ……………6
4. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダー対応 ……7
5. バージョン情報 ……………8

1. オートスクエアショット

本機では、投写画面の上下左右の台形歪みを補正する「3Dリフォーム」に、“オートスクエアショット”（自動補正機能）が追加されています。

オートスクエアショットは、本機に内蔵しているイメージセンサでスクリーンの輪郭（外枠）を感知（検出）し、スクリーンに収まるように投写画面を自動的に補正する機能です。

注意

- オートスクエアショットは、30～200型のスクリーンサイズに対応しています。
- スクリーンとその背景が同じ明るさになっているときなど、本機に内蔵しているイメージセンサでスクリーンの輪郭（外枠）が読み取れない場合は、オートスクエアショットは実行できません。また、スクリーンに汚れ、傷、変色などがあると、輪郭を誤って検出してしまう場合があります。
- 本機のイメージセンサとスクリーンの間に障害物があると、スクリーンを検出できません。
- オートスクエアショットは、反射型スクリーンには対応していません。拡散型（マット系）や回帰型（ビーズ系）などのスクリーンを使用してください。

オートスクエアショットの実行

1 希望する設置位置から映像を投写する。

投写する手順については、取扱説明書やクイックガイドをご覧ください。

2 (3D REFORM) ボタンを押す。

3Dリフォーム（4点補正）画面が表示されます。

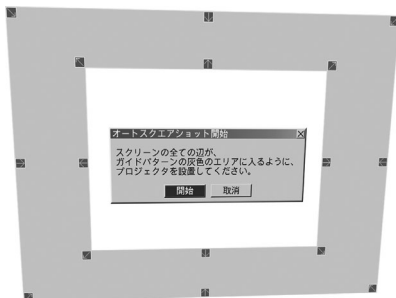
投写範囲



3 (AUTO ADJUST) ボタンを2秒以上押す。

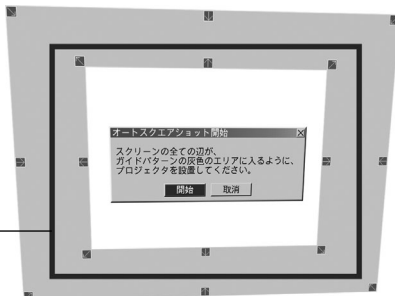
自動調整が可能な範囲を示す“ガイドパターン”が表示されます。

- ・ リモコンで操作する場合は (AUTO ADJ.) ボタンを2秒以上押します。



- 4** スクリーンの輪郭(外枠)が“ガイドパターン”の灰色のエリアに収まるように、プロジェクトの設置位置や投写角度を調整する。

スクリーンの外枠



- 5** [開始] にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。

- ・中止する場合は(SELECT ◀▶) ボタンで [取消] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

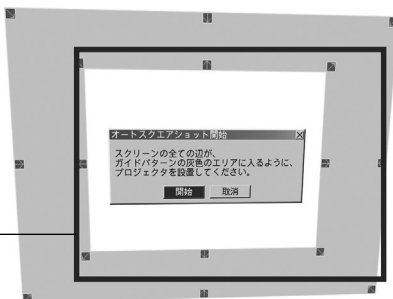
オートスクエアショットが実行されます。処理時間が約20秒かかります。



注意

- [アスペクト] が「スタジアム」のとき、オートスクエアショットは作動しません (▶ 85ページ)。
- 右の図のように、ガイドパターンの灰色のエリアからスクリーンの輪郭(外枠)がはみ出しているときは、オートスクエアショットを実行しても台形歪みは補正されません(画面は変化しません)。

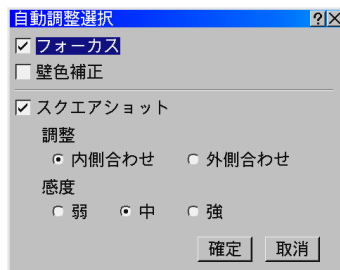
スクリーンの外枠



- オートスクエアショットの実行中にパソコンから本機を操作する*と、正常に補正できないことがあります。
- * Dynamic Image Utility 2.0、Image Express Utility 1.0、HTTPサーバ機能などを使用すると、パソコンから本機を操作できます。

オートスクエアショットの設定画面

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。
ベーシックメニューが表示されます。
 - ・アドバンスメニューが表示された場合は、手順 **3** に進みます。
- 2** **(SELECT ▼/▲)** ボタンで「アドバンスメニューへ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
アドバンスメニューに切り替わります。
- 3** **(SELECT ▼/▲)** ボタンで「機器設定」にカーソルを合わせ、**(SELECT ►)** ボタンを押し [3Dリフォーム] にカーソルを合わせる。
- 4** **(SELECT ▼/▲)** ボタンで [自動調整選択] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
[自動調整選択] 画面が表示されます。



フォーカス	取扱説明書の106 ページをご覧ください。		
壁色補正	取扱説明書の106 ページをご覧ください。		
スクエアショット	チェックマークを外す (□) と、オートスクエアショットは作動しません。		
	調整	内側合わせ	スクリーンの内側に収まるように投写画面を補正します。
		外側合わせ	スクリーンより少し大きめに投写画面を補正します。
	感度 (弱/中/強)	スクリーン内の線などを検出してしまうときは「弱」に、またスクリーンが検出できないときは「強」に設定します。	

注意

- [調整] で「内側合わせ」に設定し、オートスクエアショットを実行してスクリーンの内側に補正できなかった場合は、自動的にスクリーンより少し大きめに投写画面を補正します。

2. レンズズーム連動による台形補正の精度向上

3Dリフォームの[台形補正]において、いったん補正した画面の形をほぼ保ったままズームを行うことができます。また「水平」と「垂直」の組み合わせによる設置補正範囲が、ソフトウェアの改良前に比べ約25%拡大(ズームを最小にしている場合)しています(▶92ページ)。

注意

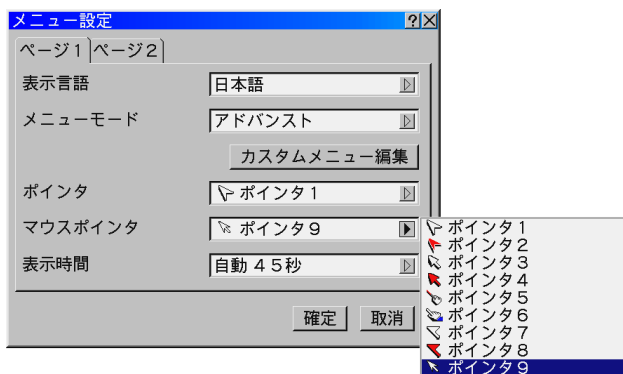
- レンズのズーム位置を最小にして[台形補正]を行い、ズーム位置を最小から最大に移動したときに、3Dリフォームの補正範囲をオーバーしてしまうことがあります。その場合は[台形補正]の補正值が工場出荷状態に戻ります。

3. USBマウスを使った場合の操作性向上

(1) マウスポインタの形状変更

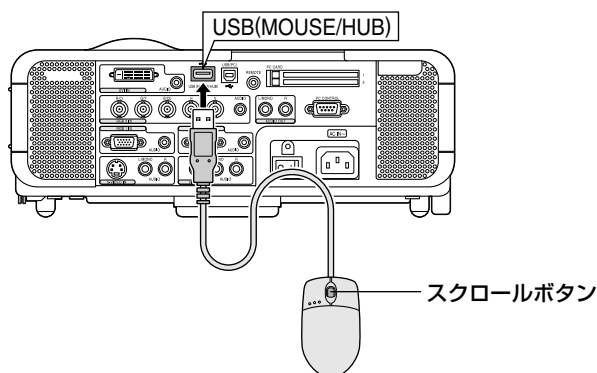
USBマウスをプロジェクトに接続したときに画面に表示される“マウスポインタ”の形状(色やデザイン)を変更できます。

アドバンスメニューの[機器設定] → [メニュー設定] → [ページ1]の[マウスポインタ]のプルダウンリストの中から選択してください(▶96ページ)。



(2) スクロールボタン対応

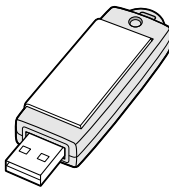
- [ヘルプ] などスクロールバーが表示されているメニュー上で、USBマウスのスクロールボタンが使用できます(▶53ページ)。
- 各種調整メニュー上で、スクロールボタンを使って調整バーを動かすことができます(▶53ページ)。
- メニュー表示以外の部分にマウスポインタを移動してスクロールボタンをクリックすると、チョークボードツールバーの表示/消去ができます(▶55ページ)。



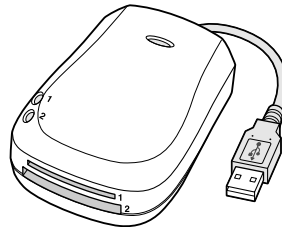
4. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダー対応

本機のビューワやセキュリティ(プロテクトキー)において、市販のUSBメモリが使用できます。また、市販のUSBメモリカードリーダーを本機に接続すると、各種メモリカード内のデータを扱ったり、各種メモリカードをプロテクトキーとして使用できます。

- 本機で使用可能なUSBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーについては、当社ホームページ http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html でご確認のうえ、市販品をお買い求めください。
- 市販のUSBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーの端子を、本機のUSBポート(タイプA)「USB(MOUSE/HUB)」に挿入します。
- ビューワツールバー(🔍 63ページ)、キャプチャツールバー(🔍 66ページ)、ファイル選択画面(🔍 70ページ)の[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。USBドライブは最大4つまで認識できます。
- セキュリティでプロテクトキー(🔍 113ページ)として使用する場合は、[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。



USB メモリ



USB メモリカードリーダー

注意

- 本機にUSBマウスを接続しているときは、USBメモリおよびUSBメモリカードリーダーは使用できません(HUBを使用した同時使用にも対応していません)。
- USBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーのアクセスランプが点灯・点滅しているとき(メモリ内のデータを読み書きしているとき)は、次の操作に注意してください。誤った操作を行うと、USBメモリまたはメモリカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
 - ・ 本機のUSBポートからUSBメモリを抜いたり、USBメモリカードリーダーの端子を抜かないでください。
 - ・ USBメモリカードリーダーからメモリカードを抜かないでください。
 - ・ 本機の主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。
- 「USB1」～「USB4」のドライブ表示は、USBメモリまたはUSBメモリカードリーダーが本機に接続されているときのみ表示されます。また、USBメモリカードリーダー本体のドライブ表示と異なる場合があります。
- USBメモリおよびメモリカードによっては、本機のプロテクトキーとして使用できないものがあります。

5. バージョン情報

本機のファームウェアのバージョンアップを行う場合などに、バージョン番号を確認できます。

バージョン表示は、本機の [情報] 画面の [ページ 4] として追加されています (117ページ)。

